

第4回熊本市自治推進委員会のまとめ

平成22年9月29日開催

1 盛り込むべき主な項目と内容について

総則

- ・趣旨ではなく目的にすべき【西村委員】
- ・三鷹市も目的となっている【岩下委員】
- ・趣旨規定には違和感があり他都市も目的規定が多い【荒木副委員長】

参画・協働ほか

- ・情報共有について体系的にわかるように入れ込む【西村委員】
- ・この条例を多くの市民にいかに伝えることができるかが重要【中島洋委員】
- ・この条例が市民に理解され広がっていくことが大切【中島久委員】
- ・情報提供の内容の的確な管理が必要【長塩委員】
- ・市民や市の情報が集約できている場所に機能を持たせ、支援することが必要【松崎委員】
- ・活動資金に市民・企業が寄附することも参画の一つのあり方【松崎委員】
- ・市民の利用できる人材育成のための場が必要【西村委員】
- ・地域社会の現実を踏まえた公共性を考えることが大切【平橋委員】
- ・市民が生活の中で実感できるルールを作る【吉田委員】

2 荒木副委員長による要点整理

- ・70万人以上の熊本市全体で実感できるルール作りはなかなか難しい。
- ・自分が住んでいる地域の課題が実感できてこそ、市民の関心が高まる。
- ・情報は行政から提供されるものだけではなく、市民生活の中から発信していくことも大事。
- ・そのため、町内会、校区自治協議会、区など単位でシステム化した情報共有が必要。
- ・よって、このシステム化を取り入れた参画協働のルール作りをまとめていくこととする。

3 次回の議事について

- ・今回の意見等も含め、正副委員長で相談して答申（案）を作成する。
- ・答申（案）は、「1 条例に盛り込むべき項目と内容」、「2 答申に付する意見」、「3 委員会での主な意見」のように分けて整理する。
- ・「趣旨」については、委員会の総意として「目的」に変更する。
- ・次回は、答申（案）に意見をいただいて、答申内容を決定していく。